

大丈夫なのか！リニア中央新幹線！ 建設費5兆1,000億全額自己負担・少子高齢化傾向・乗客数減少

甘い見通し！早くも東海道新幹線収入前年割れ！

会社は2007年12月、突如、自己負担によるリニア中央新幹線構想をマスコミに発表しました。建設費の試算5兆1千億を全額自己負担で建設に踏み切ることを明らかにしたのです。

財源確保には債務返済資金を充当するから大丈夫と自信を見せていますが、経済状況が不透明な事態が続けば楽観視は出来ません。現に一昨年12月段階では、リニア開業後の東海道新幹線収入を5～10%増と見込んでいましたが、今回乗客が減少したことを見ると、あまりにも甘い見通しが露呈したことになります。リニア開業には、まだまだ問題点は多く指摘されています。電磁波の人体への影響、自然破壊、地方自治体との合意形成など問題は山積しています。

突っ走ることで労働者へしわ寄せすることは許せません。

3カ月連続で乗客数前年割れ

東海道新幹線

JR東海は十六日、東海道新幹線の一月の乗客数が前年同月比4

%減となり、三カ月連続で前年実績を下回ったと発表した。三カ月

連続は、情報技術（IT）バブル崩壊後に景気が低迷した二〇〇二年十月から〇三年五月

まで八カ月連続で前年実績を下回って以来となる。

景気の悪化に伴い、企業の経費節減でビジネス客が減少していることが主因とみられる。二月も十五日まで前年同期比15%減。今後も乗客が減る可能性があるといる。

乗客数が前年同月比4

年十月から〇三年五月